

# キャリアと生活

## の充実をめざして

—育見休業・介護休業の観点から—



### 講演

#### 育休の経済学

山口 慎太郎先生  
(東京大学大学院経済学研究科 教授)

#### 介護離職と介護休業

池田 心豪先生  
(独立行政法人 労働政策研究・研修  
機構多様な働き方部門 副統括研究員)

**開催主体** 東洋大学重点研究推進プログラム

「生活も仕事も充足して継続できる社会の実現に向けた、職業キャリアの実証研究」(代表：西野理子)

**日程** 2024年6月29日(土) 14時～16時  
(開場 13:30)

**会場** 東洋大学白山キャンパス 2号館  
スカイホール

### 参加・お申込み

- 事前登録制  
フォームよりお申し込みください。
- 締切  
6月25日(火)  
※定員になり次第、締め切りいたします。  
お早めにお申し込み下さい。



# プログラム

## ■開会の辞（プログラム紹介）

### ■ご挨拶

金子(大谷)律子(東洋大学副学長)

## ■育児休業をめぐる基調講演

### 「育休の経済学」

山口慎太郎先生(東京大学)

## ■介護休業をめぐる基調講演

### 「介護離職と介護休業」

池田心豪先生(独立行政法人 労働政策研究・研修機構)

### ■コメンテーターからのコメント

村尾祐美子(東洋大学社会学部)

### ■全体討論

### ■閉会の辞

2024年度より東洋大学の重点研究推進プログラムとして、東洋大学の教職員のキャリア形成に関する研究を開始します。意欲や充足感を保ちながら働き続けられることや、多くの人が経験する育児や介護、治療などのライフイベントとの関連、ジェンダーバイアスなどの観点から研究を進めていきます。

まずは、キャリアを持続するうえで課題となる育児と介護に焦点をあて、キャリアと生活を充足させることの意義を専門の講師をお迎えして考えます。



## 講演者の略歴



山口 慎太郎 先生

1999年慶應義塾大学商学部卒業。2001年同大学大学院商学研究科修士課程修了。2006年アメリカ・ウィスコンシン大学経済学博士号(Ph.D.)取得。カナダ・マクマスター大学助教授、准教授、東京大学准教授を経て2019年より現職。

専門は労働市場を分析する「労働経済学」と結婚・出産・子育てなどを経済学的手法で研究する「家族の経済学」。『「家族の幸せ」の経済学』(光文社新書)で第41回サントリー学芸賞を受賞。『子育て支援の経済学』(日本評論社)は第64回日経・経済図書文化賞を受賞。2021年に日本経済学会・石川賞受賞。内閣府・男女共同参画会議議員なども務める。



池田 心豪 先生

東京工業大学大学院社会理工学研究科博士課程単位取得退学、博士(経営学)(法政大学)、2005年4月から労働政策研究・研修機構研究員、2023年10月から現職。

専門は職業社会学・人事労務管理。『介護離職の構造—育児・介護休業法と両立支援ニーズ』(単著、2023年、労働政策研究・研修機構)で第46回労働関係図書優秀賞受賞。厚生労働省「今後の仕事と家庭の両立支援に関する研究会」(2014～15年度)「今後の仕事と育児・介護の両立支援に関する研究会」(2022～23年度)委員として、2016年と2024年の育児・介護休業法改正にかかわる。